



2018 **8/23**
10:15~11:45

場所 チルドリンカフェ本部@日本橋室町

東京都中央区
日本橋室町1-6-13 2F

最寄り駅 ◆銀座線「三越前」駅(A1出口)徒歩1分/(A2出口・エスカレータあり)より徒歩1分
◆東西線「日本橋」駅(C1出口)徒歩5分 ◆JR「新日本橋」駅 徒歩7分、「東京」駅(日本橋口) 徒歩10分
◆浅草線「日本橋」駅 徒歩5分 ※東京駅からは「無料巡回バスマトロリンク日本橋」東京駅八重洲口のバス停をご利用ください。

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

<https://goo.gl/eKMJe3>



親子で楽しむ 福島伝統工芸文化

人気のお土産付き!

福島伝統工芸の未来をみんなで考えよう

関連地域

福島県全域

◆ 参加費 無料

◆ 定員 30名

◆ 主催 復興庁



「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

親子で楽しむ福島の伝統工芸文化

福島の伝統工芸の未来をみんなで考えよう

関連地域

・福島県全域

日時 2018.8.23(木) 10:15～11:45(開場 10:00) 場所 チルドリンカフェ本部@日本橋室町

地域課題

福島県では、シルクや木綿製品、木工製品、風土玩具など、高品質で多彩な工芸品をもとに、ファミリー層の需要に応える、時代に即したユニークで新しい製品づくりにも挑戦の意欲を持っている人々がいます。しかし、全国規模での認知獲得はまだ途上にあり、使い手の声を反映した斬新な製品やその活用方法の提案が必要です。

企画趣旨

日常生活から離れた存在となりつつある福島の高品質な伝統工芸品が、子どもやファミリー層にとって身近な存在になるにはどのような課題があるのでしょうか。今回のFw:東北Weeklyでは、子育て世代のていねいな暮らし楽しむアイテムとしての伝統工芸品を、大人の目線と子供の目線で考えていきます。

登壇者

※順不同／敬称略

◆ 櫻田 武 (公益財団法人福島県観光物産交流協会 観光物産館 館長)

福島県福島市瀬上町出身。東京で長らく(22年間勤務)福島県産品に携わる仕事に従事。百貨店の福島県物産展担当、福島県初の首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」での勤務、日本橋ふくしま館「MIDETTE(ミデッテ)」の立ち上げなどを通じ、首都圏での福島県産品の販路拡大や観光客誘致へのアピールに尽力。2017年より福島県観光物産館に勤務。2018年より館長を務める。

◆ 蒲生 美智代 (NPO法人チルドリン 代表理事)

NPO法人チルドリンは、全国2万人のWEB会員をもち、1回に約2000名の集客を実現する「ママまつり」という地域ママの自主イベントをサポートし年間30回を主催する。活動は「食を育む、エネルギーを選択する、レジリエンス(防災)で集う、仕事に就く、ICTを活用する、森と共創する」と社会問題に拡がっている。ママたちが考える社会課題を、暮らしの中で楽しく学ぶことから始める活動を全国展開している。

プログラム (予定)

10:15	開会メッセージ
10:20	クロストーク 「福島の伝統工芸のある子育て」 ゲスト: 櫻田 武 氏 ゲスト: 蒲生 美智代 氏 ホスト: 原 亮
10:35	ミニアイデアソン
11:30	LIKEorJOIN / コミットメントカード記入
11:40	Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ



参加対象者

- ・子連れでイベントに参加したい方等
- ・お子様とワークショップに参加したい方等
- ・工芸品の新しい展開に興味のある方等
- ・子ども向けのモノづくりに関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催: 復興庁／企画運営: NECソリューションイノベータ株式会社(受託事業者)



「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。